

鹿野ちゃれっじ2025 「果樹の里山プロジェクト」

「大学生と地域住民が思いを一つに創っていく空間
—耕作放棄地を観光交流空間へ—」

大阪国際大学短期大学部
ライフデザイン学科
久保由加里 研究室

国際教養学部 国際観光学科
4年 西岡生羅
短期大学部 ライフデザイン学科
1年 稲場結奈

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは
2. これまでの流れ
3. 2025年度の活動目標
4. 活動実施報告①②③
5. 活動の成果と課題
6. 来年の抱負

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは



- J R 山陰本線浜村駅から車で約15分
- 鳥取市街から車で約30分

鹿野町とは



- 緑豊かな山々に囲まれた水田畑地が広がる地域
- 戦国時代の鹿野城主、亀井茲矩によってつくられた城下町では、400年の伝統ある「鹿野祭りの似合う町」テーマに、古民家が立ち並ぶ統一感ある町並みが魅力である。鳥取県『県民の建物100選』に選ばれ、行政と住民によって保全されている。

人口：3245人

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

鳥取県鳥取市鹿野町河内



- ・世帯数:82
- ・人口：145
- ・高齢化率：約65%（令和8年2月28日 鳥取市役所調べ）
- ・鷲峰山や河内川、法師が滝、棚田など豊かな自然

〈地域の現状と課題〉

- ・地域の過疎化・高齢化の進行
- ・公共交通機関が減便され、日用品や食料品の購入、医療機関への通院等も不便になっている
- ・空き家の増加
- ・農地を維持管理する集落営農組織の育成が十分でない
- ・耕作できなくなる農業者が年々増加しており、耕作放棄地も増加する一方にある

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

「鹿野ちゃれっじ」とは

鹿野町の強みであるまちづくり、演劇、農業の3つを生かした、体験と人とのめぐりあいを五感で楽しむプロジェクトとして誕生した観光交流事業。

チャレンジ(challenge)
+ カレッジ(college)
の造語。



2014年 鹿野ちゃれっじを久保ゼミが検証

⇒ 2015年 農をクローズアップした「果樹の里山プロジェクト」に

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

「果樹の里山プロジェクト」とは

鹿野町・河内地区の耕作放棄地を「果樹の里山」へ。
「果樹の里山をデザインする」をテーマに、人々が行き交う
空間づくりを目指している。



河内の耕作放棄地
(2014)



果樹の苗植え
(2015)



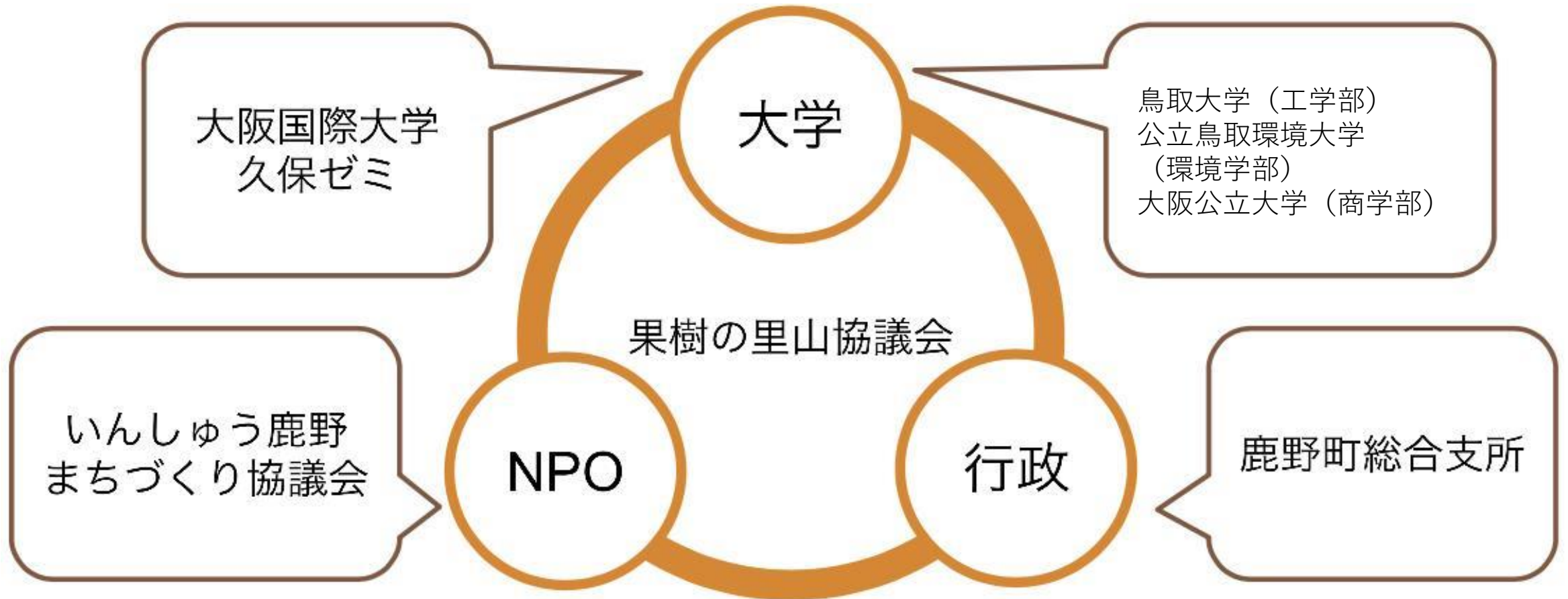
耕作放棄地を
「果樹の里山」へ
(2018)



イベント開催
(2019～)

1. 「鹿野ちゃれっじ」とは

「果樹の里山プロジェクト」関係メンバー



2.これまでの流れ

鹿野町×OIU 地域づくりまでのプロセス

①交流



来訪者と地元の人が交流し
また訪れたい空間を目指した

スタートした当時は、地元の方々と
大学生で壁があったが、
お好み焼きをふるまうことで
信頼関係を築くことから始めた

②協働



学生たちは果樹の里山メンバーから、
苗植えや道の整備のやり方を
教わりながら共に作業をした

新しいものを作り出すための
環境づくり

③共創



地域の方だけでなく
行政の方と今後の方針を
話し合い（産官学ミーティング）
活動計画を立てていった

④創造



地域イベントや大学間交流などの
新しい活動を開始した

地域の方々がイベントの運営に
中心となって参加いただける
ようになった

人々が集まり交流ができる場を創
出した

3. 2025年度の活動目標

2025年度の活動目標

1, フットパスイベントの内容の充実

より多くの方々に河内の地域資源の魅力を伝えるため、以下の2点を重点的に行った。

- ① フットパス参加者を増やすために、法師が滝という、魅力的なルートを用い、滝ならではのマイナスイオンを使ったマインドフルネスの体験を取り入れた。
- ② その地域にくわしい公民館の館長さんにフットパスガイドをお願いすることで歴史や、周りの植物のことも説明していただき、フットパスを充実させることができた。

2, パンフレットの作成

まちづくり協議会は、行政や企業からの視察依頼を多く受けている。そこでフットパスを含めた河内での体験メニューについてのパンフレットの作成を手掛けた。

4.活動実施報告

2025年活動スケジュール

4月	オンライン会議1回
6月	京丹後市峰山町 丹後暮らし探求舎・丹後町間人地区訪問
7月	対面会議1回
9月	オンライン会議1回
10月	果樹の里山まつり
11月	対面会議1回
12月	オンライン会議1回
2月~3月	パンフレットの最終調整

2025年6月20日・21日 京都府京丹後市「丹後暮らし探究舎」 「三重・森本地区」 「京丹後市役所」へ訪問



三重・森本地区住民にむけて
「鹿野ちゃれっじ」活動をプレゼン

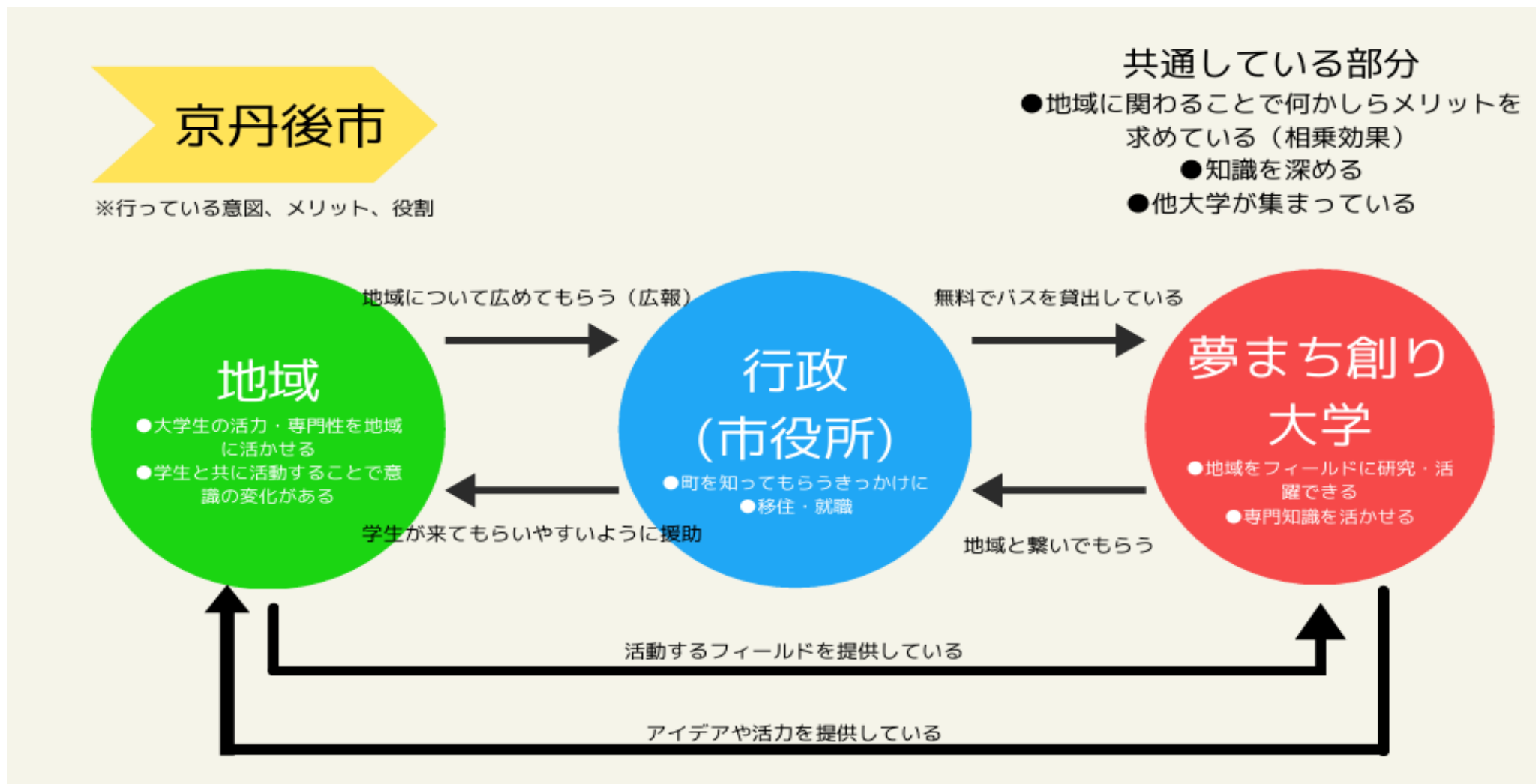


京丹後市役所 ヒヤリング調査

「鹿野ちゃれっじ」を今後より良い活動にしていくために、京都府京丹後市を訪問した。また、知見や考えを互いに共有し合うことができた。そして、三重・森本の方々に向けてプレゼンテーションを行い、鹿野ちゃれっじの活動を知っていただける機会もいただいた。

京丹後市役所の青木氏とは、京丹後市夢まち創り大学の現状や課題から、今後どのように取り組んで行くのか、というお話をお聞きすることができた。これからどのように継続して向き合っていくべきか、非常に考えられる内容であった。

現地調査 ～京丹後市夢まち創り大学～ 京丹後市夢まち創り大学の関係図



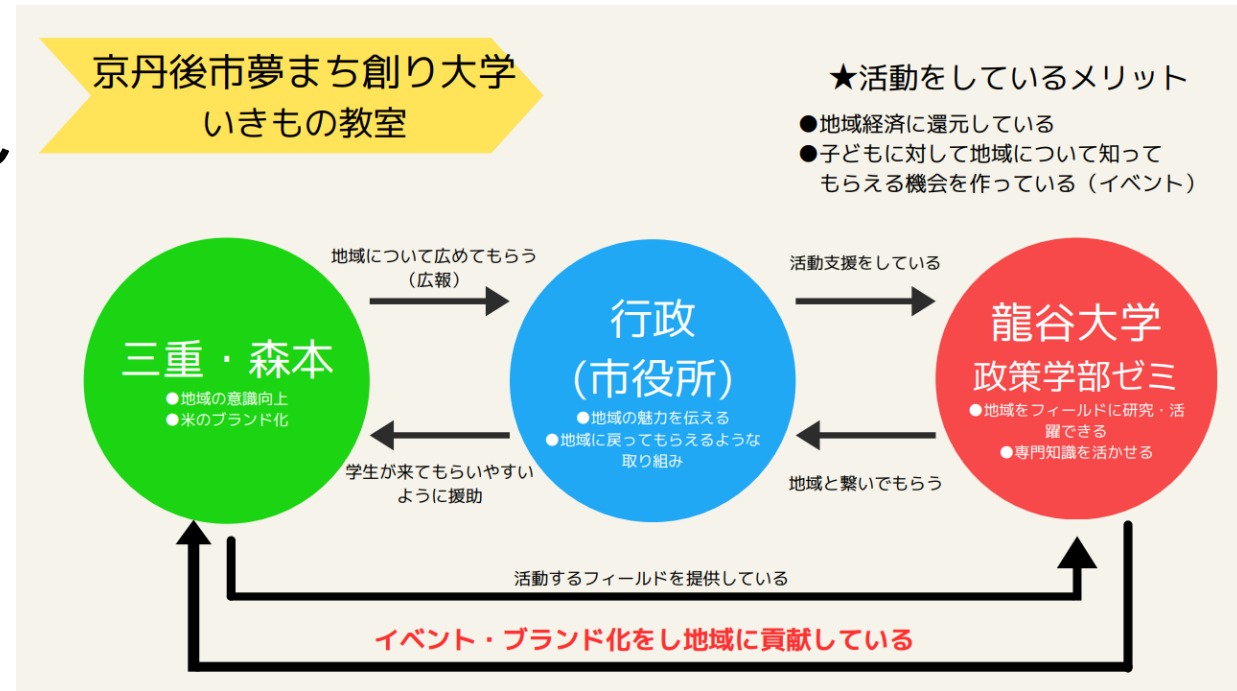
4.活動実施報告①

京丹後市では10代の若者の流出が多いため、関係人口を増やし学生たちが地域へ戻ってくることが課題となっている。それを解決していくために、京丹後市夢まち創り大学が作られた。これは近隣の大学に向けた、行政が始めたプロジェクトの名前である。また、京丹後市は大学が無いため学生を受け入れ、地域に密着してもらえる重要な事業である。そして行政は街を知ってもらうきっかけを作り、大学生が参加しやすいようサポートしている。

4.活動実施報告①

現地調査 ～京丹後市夢まち創り大学～ 京丹後市夢まち創り大学の関係図

関わっている大学のうちの1つ、龍谷大学政策学部、生物専門のゼミと「いきもの教室」を手段として域学連携を行っている。この活動は、大学生が地域の子どもたちに向けて定期的を開催し、環境教育を行い魅力を伝え次世代に繋げている。



○いきもの教室



○「ゲンゴロウ郷の米」のブランド化



京都府の絶滅危惧種である「クロゲンゴロウ」が住める水質で育った米を作っている。

⇒ 地域経済にも還元している

鹿野との違い

鳥取県鳥取市鹿野町「鹿野ちゃれっじ」はNPO法人が中間支援を行っている域学連携であり、京都府京丹後市「京丹後市夢まち創り大学」は行政主導による域学連携である。
このことから鹿野と京丹後市の活動では「中間支援組織」が異なる。

調査結果の詳細

京丹後市では京都府の絶滅危惧種である「クロゲンゴロウ」が生息できる、環境にやさしい米として販売し、地域経済にも還元している。
実際に「いきもの教室」を体験し、子供たちが楽しみながら活動しているのが印象的で、地域や自然について知れる機会があることが非常に良いと思った。

これらから、域学連携として成功している事例だと考える。

2025年10月11日 果樹の里山まつり

法師ヶ滝フットパス

今年の「法師ヶ滝フットパス」はマイナスイオンで心も体もリフレッシュしていただけるよう、1分間のマインドフルネスを取り入れ、周囲の自然の音に耳を傾けて心が癒される体験をしていただいた。

参加していただいた方々にアンケートを行い、改善点を明確にすることで、来年度の活動に活かすための良い機会となった。



**法師ヶ滝
フットパス**

マイナスイオンで心も体もリフレッシュ

2025年10月11日(土)

参加料 (支払い現金のみ)
大人 800円 (ドリンク付き)
子供 400円 (中学生以下)

開始時間 13:00~
※雨天時、別コースに変更

—フットパスとは—
マイナスイオンを発症とする森林や田園
地帯、古い街並みなど地域に昔
からあるありのままの風景を楽しみ
ながら歩くことをいいます!

緑の香りと滝の音を楽しみながら、最
高のリラックスタイムを過ごしましょう。
また、歩きながら自然とマイナスイオンを
感じてください!

服装 動きやすい服、靴
あればビニールの敷物

集合場所 里山ベース前
※集合後、ご自身の車で法師ヶ滝付近まで
向かっていただきます

鹿野ちゃれっじ
インスタグラム

視察用パンフレット作り



鹿野町には、行政や企業、また各種団体からの視察を多く受け入れている。今年度はその視察用パンフレットを作成した。

大阪国際大学との連携について知っていただき、フットパスなどをおこなってもらうことで、学生の活動を体験してもらうことを目的としている。

検討を進める中で、パンフレットを手にとった人に果樹の里山の特色をどのように伝えるかを深く考えた。

鹿野ちゃれっじ
体験メニュー！

鹿野ちゃれっじ
体験メニュー！

イチジク狩り

イチジクは9〜10月に実ります。実つたいちじくを自分で収穫しましょう。いちじくはその場で食べることができ、新鮮な果実の味わいを堪能できます。

栗ひろい

栗は9〜10月に実ります。栗が落ちるので実を拾います。秋の味覚狩りの楽しさ、旬の味を堪能できます。自分で拾った栗は持ち帰ることができます。



体験



ピザづくり

果樹の里山にはピザ窯があります。地をのぼして、里山のいちじくや柿チーズをトッピングしてピザを作ります。ピザ窯で焼いた手作りピザは最高に美味しいです。

ジャム・ドライフルーツづくり

イチジクのジャムやドライフルーツ、柿のドライフルーツ、焼き栗など里山の果実を使った美味しい加工品作りが楽しめます。作った加工品は持ち帰ることが出来ます。

4.活動実施報告③

視察用パンフレット作り

里山プロジェクトの活動拠点「里山ベース」は、閉鎖中の鳥取市所有施設をリノベーションしました。閉鎖前は年間約10日の利用が、100日以上活用される地域の拠点となっています。

農山村の拠点づくり



交学 流び



耕作放棄地活用

鹿野町河内地区では耕作放棄地を果樹園にしました。果樹の商品開発等による事業化も進めています。地域、農地を活かし守ることを学びます。

地域と大学の協働

里山プロジェクトは地域と大学生の協働事業でもあります。大阪国際大学と共に里山まつりや体験企画をしており、大学との交流、協働を学びます。

河内・里山フットパス



里山を散策しながら地域の魅力を味わいます。果樹園を楽しむ、水遊びや地域の歴史・文化、自然の豊かさを感じ、楽しみながら歩くことができます。

鹿野ちゃれっじ
体験メニュー！
(MAPは次のページ)

果樹の 里山 エリア MAP



果樹の里山があるのは、鳥取県の東部にある鳥取市鹿野町の河内地区です。鷲峯山(じゅうぼうやま)の麓にあり河内川が流れる自然豊かな土地です。



1 果樹の里山

スモモ 収穫時期 6月~8月

スモモ(李・プラム)は、バラ科サクラ属の果物で、桃よりも一回り小さく、爽やかな酸味とジューシーな甘みの特徴です。

イチジク 収穫時期 9月~10月

イチジクは上品な甘みと柔らかな酸味の特徴の果物です。食物繊維が豊富で腸の調子を整え、カリウムも多く含むため、美肌やむくみ改善など「不老長寿の果物」とも呼ばれます。

ブルーベリー 収穫時期 8月~9月

ブルーベリーは、「西洋すもも」の総称で、ミラクルフルーツと呼ばれるほど栄養価が高い果物です。食物繊維、カリウム、鉄、ビタミンA、ポリフェノールなどが含まれています。

栗 収穫時期 9月~10月

ブナ科の木になる実であることから「果樹」に分類される果物です。秋の味覚で栄養価が高く、ホクホクした食感で栗ご飯やモンブランなどに親しまれています。

柿 収穫時期 9月~11月

柿は「柿が赤くなれば医者は青くなる」と言われるほど栄養価が高く、ビタミンCは果物の中でもトップクラスです。甘柿・渋柿合わせて栽培しています。

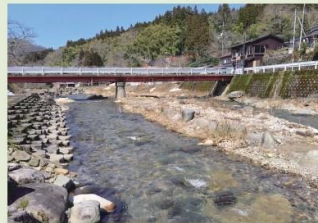
キウイ 収穫時期 10月~11月

キウイフルーツは、ビタミンCや食物繊維が非常に豊富で「果物の女王」とも呼ばれる栄養価の高いフルーツです。免疫力向上、美肌、腸内環境の改善、血糖値上昇の抑制などが期待できます。



2 法師ヶ滝

河内川最上流にかかる落差15mの滝です。名前の「法師ヶ滝」は三徳山の法師たちがこの滝で修行や滝行を行っていたという伝承に由来します。



3 親水公園

鷲峯山から流れる河内川にある公園で、昔はドンコ・カジカなどの魚が生息していて、川の土手にはヤギがいたそうです。



4 里山BASE

地域の人々から親しまれていた生活改善センターを、学生たちが中心となってリノベーションし「河内 里山ベース」として生まれ変わりました。この場所で多くの人が集い、新たなものが生まれる場所になっていきました。



5 ガンバリ坂

昔、坂の上にあった分校へ向かう、この坂道を上る生徒たちに、当時の校長が激励の思いを込めて名付けました。そして、石にこの名が刻まれました。

INFO

体験や視察の ご案内



● プログラムについて

体験・学び・交流を組み合わせることも可能です。

例) いちじく狩り + 耕作放棄地活用を学ぶ + ピザパーティー
フットパス + ドライフルーツ作り + 里山ベースでカフェなど！

● お申込み

季節によって可能な内容が変わります。

また対応できる日程もありますので、
事前にお問い合わせください。

● 体験・学び費用

内容、人数により変わりますので、ご相談ください。

[連絡先]

鹿野町河内果樹の里山協議会

鳥取市鹿野町鹿野 1809-1 しかの心

担当：小林



お問い合わせフォーム

鹿野町河内 果樹の里山プロジェクト

地域住民を中心に行政・NPO 法人・
地区公民館・大学と協働で 2015 年
から耕作放棄地を果樹園にするプロ
ジェクトに取組み、2015 年から
2025 年度の 10 年で 4.5ha の農地
にいちじく、かき、栗など 1,111 本
の果樹を植えました。多くの方々に
支えられているプロジェクトですが、
特に大阪国際大学生は最初から継続
して関わっており、イベント開催や
体験メニュー創出においても大きな
力となっています。地域や農地を守
り、果樹の実りを育て活かすことを
多くの方に知って頂き、一緒に考え
行動して頂けたら幸いです。



 @kajyu_yama

活動の成果

★法師ヶ滝フットパス

⇒インスタで告知するなど広報を活用したことで、フットパスに参加してくれる人が増え、自然の豊かさなどの地域の魅力を多くの人に発信できた。（参加者14名）

★パンフレットの作成

⇒鹿野町の地域の特色や果樹の里山プロジェクトを知っていただく機会を増やすことができた。

今後の課題

★活動後継者の確保

★活動を広く知ってもらう工夫をする

感想

法師ヶ滝フットパスの開催で地域の方と密接に関わることができたので来年度も引き続き地域の魅力を発信しつつ、フットパスなどの企画を通して地域の方とより交流をしていきたい。また、フットパスに参加していただいた方にアンケートを実施したことで、改善点が明確になり、**参加者の立場に立った企画を行うことの大切さを実感した。**

来年の抱負

- ・「週末だけのまちのみせ」という城下町でのイベントにおいて、河内のそば畑でできたそば粉を使用してガレットを売り、地域を超えた人々にを発信する。
- ・「地域の魅力発信」のために直接地域の方々に関われる機会として、**蛇腹池フットパスを開催してその地に伝わる伝説などを知っていただき、鹿野に興味を抱いてもらえるきっかけをつくる。**



フットパスイベントに向けて
公民館館長さんと調査



まちづくり協議会、
デザイナーさんと一緒にパンフレット作成会議



果樹の里山 公式SNS

Facebook



Instagram



KAJYU_YAMA

大阪国際大学生
が運営

最後に、この活動にご支援をいただいた
地域協働センター並びにご支援・ご協力いただいた
全ての皆様に感謝いたします。ありがとうございました。